

教科名	工業	科目名	情報技術基礎	
科目の目標	社会における情報化の進展と情報の意義や役割を理解させるとともに、情報技術に関する基礎的な知識と技術を習得させ、工業の各分野において情報及び情報手段を活用する能力と態度を育てる。			
履修学年	1学年	学科・コース	電子機械科	
単位数	2単位	授業形態	一斉授業	
教科書	7実教情報技術基礎	副教材等	情報技術検定3級テキスト	
1 学習の目標				
電子機械科の情報技術基礎では、次のような力を身につけることを目標にしています。 (1) 情報化の進展と情報の意義や役割について、コンピュータの特徴・利用形態を理解する。 (2) 情報及び情報手段を活用する能力と態度を育て、情報モラルを身につける。 (3) 情報技術に関する基礎的な技術と知識を習得する。				
2 学習内容と進め方				
(1) 教科書の中身を中心に、情報技術の基本事項を学びます。 (2) 情報技術検定の試験の内容とリンクしながら授業展開し、合格できるよう取り組みます。				
3 学習の留意点				
(1) 日常ではどのように情報は処理され、利用されているか。様々な角度から、その利用形態や技術、問題点を意識して授業に取り組みましょう。 (2) コンピュータはどのような流れで情報を処理しているか、どのような活用方法があるのかを考える力を身につけましょう。 (3) コンピュータを操作する側の目と作る側の目、両方の視点を持って取り組みましょう。				
4 評価の方法				
(1) 定期考査における結果。 (2) 授業への取り組み方、提出されたノートの内容。 (3) 忘れ物については、(1)・(2)の点数から減点する。				
5 授業計画				
月	単元	学習内容	評価の観点	考査等
4	第1章 産業社会と情報技術	情報と生活 コンピュータの特徴 コンピュータの構成 コンピュータの発達 情報化の進展と産業社会 情報化社会の権利とモラル 情報のセキュリティ管理	【関】日常生活とコンピュータとの関わりについて関心を持っているか。 【思】それぞれの機器の必要性を自ら考え判断することができるか。 【技】教科書や雑誌等を調べて社会とコンピュータとの関わりを表現できるか。 【知】日常生活や企業活動とコンピュータとの関わりについて理解できたか。	この単元を自己評価してみよう A B C 期末考査
5				
7				
8	第2章 コンピューターの基本操作とソフトウェア	コンピューターの基本操作 ソフトウェアの基礎 アプリケーションソフトウェア	【関】ソフトウェアの基礎について意欲的に知識を得ようとする取り組みをしているか。 【思】それぞれのソフトウェアの必要性を自ら考え判断することができるか。 【技】それぞれのソフトウェアの実用例を的確に表現できるか。 【知】ソフトウェアの目的と基礎的な知識を理解しているか。	この単元を自己評価してみよう A B C
9	第3章 プログラミングの基礎	プログラム言語	【関】コンピュータのプログラミングについて意欲的に知識を得ようとする取り組みをしているか。	
10	第5章 Cによるプログラミング	プログラムの作り方 流れ図とアルゴリズム Cの特徴 四則計算のプログラム 選択処理 繰返し処理 配列 関数、ファイル処理	【思】フローチャート及びプログラムの各命令について自ら考え判断することができるか。 【技】アルゴリズムを考えながら自らプログラミングをすることができるか。 【知】プログラミングの基本的な流れ及びプログラム文法を理解しているか。	中間考査 この単元を自己評価してみよう A B C 期末考査
11				
12				
	第6章 ハードウェア	データの表し方 論理回路の基礎	【関】コンピュータで表現されるデータの仕組みについて関心を持っているか。 【思】データ表現及び論理回路について自ら考え判断することができるか。	この単元を自己評価してみよう A B C

1		処理装置の構成と動作	<p>【技】 データや論理回路の演算を行いその結果を的確に表現できるか。</p> <p>【知】 データの表現及び論理回路について理解しているか。</p>	<p>この単元を自己評価してみよう</p> <p>A B C</p>
2	第7章 コンピュータネットワーク	コンピュータネットワークの概要 コンピュータネットワークの構成 コンピュータネットワークの通信技術	<p>【関】 データ通信及びマルチメディアについて意欲的に知識を得ようとする取り組みをしているか。</p> <p>【思】 データ通信及びマルチメディアについて自ら考え判断することができるか。</p> <p>【技】 データ通信及びマルチメディアの実用例を的確に表現することができるか。</p> <p>【知】 それぞれの構成や仕組みについて理解しているか。</p>	<p>情報技術検定</p> <p>学年末考査</p> <p>この単元を自己評価してみよう</p> <p>A B C</p>
3	第8章 コンピュータ制御 第9章 情報技術の活用	コンピュータ制御の基礎 コンピュータ制御の概要 組込み技術 マルチメディア 情報の収集と活用 プレゼンテーション 文書の電子化		

【関】は「関心・意欲・態度」、【思】は「思考・判断・表現」、【技】は「技能」、【知】は「知識・理解」をあらわす。